

2025 年度 大学院 I 期(薬学研究科博士課程) 専門科目 出題意図

[問題 1]

細菌の細胞構造、増殖、外部環境変化に対する適応機構、および抗菌薬の作用機序について理解し、多剤耐性化が問題となる代表的な病原体である緑膿菌の抗菌薬に対する耐性獲得メカニズムを論理的に説明する能力を問う。

※出典情報：引用なし

[問題 2]

問1 栄養素としてビタミンは重要であり、その欠乏症と生理機能の作用メカニズムを関連付けて理解しているかを問うている。

問2 花粉症は非常に罹患者の多い I 型アレルギー疾患なので、その発症機序を問うことで、免疫に関する基本的知識を確認している。

[問題 3]

問1 甲状腺機能亢進症（特に Basedow disease）に特徴的な身体所見を理解しているかを確認する問題。症例中の症状（体重減少、動悸、振戦、甲状腺腫）から疾患を推定し、典型的身体所見である眼球突出を選択できるかを評価する。

→評価ポイント

甲状腺機能亢進症の臨床症状の理解

Basedow 病の特徴的な身体所見の知識

問2 TSH 受容体抗体の病態生理学的役割を理解しているかを評価する問題。

TSH 受容体抗体には刺激型（TSAb）と阻害型（TSBAb）が存在し、それぞれが甲状腺機能亢進症・低下症を引き起こすことを理解しているかを確認する。

→評価ポイント

自己抗体の機能の理解

甲状腺機能亢進症の免疫学的機序

本症例が刺激型抗体による Basedow 病であることの判断

問3 抗甲状腺薬の薬理作用と重篤副作用を理解しているかを確認する問題。

→評価ポイント

Thiamazole の作用機序（甲状腺ペルオキシダーゼ阻害）

临床上重要な副作用（無顆粒球症、白血球減少、汎血球減少、肝障害、発疹など）

薬物治療の安全管理の理解を評価する。

問4 妊娠を希望する患者に対する**抗甲状腺薬選択の臨床判断**を理解しているかを確認する問題。

→評価ポイント

A 薬 = Propylthiouracil

チアマゾールが催奇形性、妊娠初期の胎児異常と関連することを理解しているか。

妊娠希望・妊娠初期では PTU を選択する理由を説明できるかを評価する。

問5 甲状腺機能亢進症の症状管理における β 遮断薬併用の意味を理解しているかを
確認する問題。

処方

チアマゾール及び Bisoprolol から、甲状腺機能亢進による頻脈・動悸などの症状が強
い状態であることを推測できるかを問う。

→評価ポイント（ β 遮断薬の適応理解、甲状腺中毒症の症状コントロール）

[問題4]

問1 症例情報（氷食症・匙状爪・検査値）から鉄欠乏性貧血を診断できるかを評価
する問題。

→評価ポイント

学生が次の臨床情報を統合できるか

症状：氷食症、匙状爪

検査値：Hb 低値、血清鉄低値、UIBC 上昇、フェリチン低値

問2 鉄欠乏性貧血の薬物治療と服薬指導を理解しているかを確認する問題。

→評価ポイント

処方薬（クエン酸第一鉄ナトリウム錠）に対して理解しておくべき注意点

消化器症状、便の黒色化、ビタミンC併用、長期投与の必要性、原因検索の必要性

などの臨床的管理を説明できるかを評価する。

[問題5]

薬学教育モデル・コア・カリキュラムの「人と社会に関わる薬剤師」に関わる出題であ

り、人の行動や考えの理解につながる心理的要因の一つである防衛機制についての基本

知識を問うものである。

[問題6]

医薬品医療機器等法に規定されている希少疾病用医薬品に関する基本的知識を確認す

る。

[問題 7]

問 1 医薬品と生体分子の相互作用について、基本的な知識を問う。

問 2 医薬品化学に関する事項について、一般的な知識を問う。

[問題 8]

問 1 有機化学反応における立体選択性について、一般的な知識を問う。

問 2 有機化合物の合成法について、総合的な知識、理解力を問う。